

大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)
による修学支援の対象機関として新たに確認された大学等
(確認大学等) について

(私立専門学校)

確認大学等の 名称	確認大学等の 所在地	設置者の名称	設置者の主たる 事務所の所在地	備考
北海道農業 専門学校	〒062-0052 札幌市豊平区 月寒東2条14 丁目1番34号	学校法人 八紘学園	〒062-0052 札幌市豊平区 月寒東2条14 丁目1番34号	

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道農業専門学校
設置者名	学校法人 八紘学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
農業分野 専門課程	農業科 畜産グループ	夜・通信	24 単位	6 単位	
	農業科 園芸グループ	夜・通信	26 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学外者には随時要望に応じて校内に準備した資料の閲覧または配布を可能としている
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道農業専門学校
設置者名	学校法人 八紘学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

名簿は校内に準備しており、要望により随時閲覧を可能としている。
HP上で公開している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)道銀地域総合研究所 取締役会長	2025年6月 ～2029年6月	組織運営体制のチェック機能
非常勤	東京農業大学名誉教授	2025年6月 ～2029年6月	組織運営体制のチェック機能
非常勤	(株)キタデン 特別顧問	2025年6月 ～2029年6月	組織運営体制のチェック機能
非常勤	公益社団法人 北海道農業公社 監事	2025年6月 ～2029年6月	組織運営体制のチェック機能
非常勤	独立行政法人 中小企業基盤整備機構	2025年6月 ～2029年6月	組織運営体制のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道農業専門学校
設置者名	学校法人 八紘学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期の農業畜舎管理実習に関する年間計画は毎年度<学習案内>として作成し、学生には配布、保護者等には郵送等で周知している。 ・後期講義のシラバスは外部講師の委嘱に関わる承諾などを行う関係で毎年度10月に作成し、学生には後期講義のオリエンテーションで配布説明、保護者等には郵送等で周知している。 ・卒業に必要な単位数などに関しては4月の新学年ガイダンスで学習案内を用いて学生及び保護者へ詳細に説明するとともに周知をしている。 ・学習案内には授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を明記している。 ・学習案内の要約版(学校要覧)を作成し、オープンキャンパス参加者および保護者ならびに一般見学者等で希望する者へ配布、説明をしている。 	
授業計画書の公表方法	<p>冊子化と配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料010 成績評価基準 ・資料011 学習案内2026
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な成績判定基準を前期の農場畜舎管理実習期間と後期の講義期間に分けて作成し、学習内容等を通して学生及び保護者に周知を図っている。 ・ その基準に則り、適切に学習評価にあたっている。 ・ 毎年学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会を開催し、学習成果判定に関する外部有識者などからの評価を受けている。 ・ その結果をメール等にて配信し職員や外部講師への周知を図り、農場畜舎管理実習および講義の見直し等について、適宜協議検討を行っている。 ・ 毎年各授業の実施状況に関して、学生アンケートを実施して改善点洗い出しを行い、中長期の学習指導計画や毎年度の授業などの改善策について適宜協議検討している。 ・ さらに毎年度、職員による<自己評価>を実施することで、課題点や修正点の進捗状況などの把握に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 009 学則 2024/2025/2026 年度 ・ 資料 013 教育課程編成委員会規定 ・ 資料 014 学校評価実施規定 ・ 資料 015 2025 授業評価集計 ・ 資料 016 2025 学生実習評価 ・ 資料 017 2025 職員自己評価 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA等の客観的な指標を設定し、A～Eの5段階評価により適切な成績評価基準を設定している。その分布状況は把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>冊子化(学習案内2026)と配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 004 2023～2025 年度卒業生成績表 ・ 資料 010 2026 成績評価基準 ・ 資料 011 学習案内 2026
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- 卒業に必要な単位は学則に明記している。
- 成績判定の基準は<前期の実習期間>と<後期の講義期間>に分けて作成し、学習案内に明記している。
- 期末試験の成績状況や出席時数等に基づいて単位認定を行っている。
- 前期と後期の成績および出席率、出席態度などを総合的に勘案して卒業認定にあっている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

冊子化(学習案内 2026)と配布

- 資料 009 学則 2024/2025/2026
- 資料 011 学習案内 2026

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道農業専門学校
設置者名	学校法人 八紘学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	校内に資料を準備し要請に応じて開示している
収支計算書又は損益計算書	収支計算書 校内に資料を準備し要請に応じて開示している
財産目録	校内に資料を準備し要請に応じて開示している
事業報告書	校内に資料を準備し要請に応じて開示している
監事による監査報告（書）	校内に資料を準備し要請に応じて開示している 監査法人による監査の免除申請し受理済み

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
農業		専門課程	農業科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2810 単位時間 /106 単位	畜産 グループ	790 単位 時間 /39 単位	100 単位 時間 /5 単位	1960 単 位時間 /65 単位	30 単位 時間 /1 単位	60 単位 時間 /2 単位
			園芸 グループ	740 単位 時間 /37 単位	100 単位 時間 /5 単位	1960 単 位時間 /65 単位	30 単位 時間 /1 単位	60 単位 時間 /2 単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人		44 人	0 人	26 人	33 人	59 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期の実習に関する年間授業計画は毎年度＜学習案内＞として作成し、学生には配布、保護者には郵送等で周知している。 ・後期講義のシラバスは外部講師の委嘱に関わる承諾などを行う関係で毎年度10月に作成し、後期授業のオリエンテーションで学生への配布説明と保護者へは郵送している ・卒業に必要な単位数などに関しては4月の新学年ガイダンスで学習案内を用いて学生および保護者へ詳細に説明するとともに周知している。 ・学習案内には授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を明記している。 ・学校案内要約版を作成し、オープンキャンパス参加者および保護者ならびに一般見学者等の希望者へ配布し評価方法等について説明している。 <p>資料010 成績評価基準 資料011 学習案内2026 資料010 成績評価基準表</p>

資料 0 0 9 学則 2024・2025・2026 年度
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則に成績評価などの基準を下のとおり明記している。</p> <p>『授業科目の成績評価は、学年末において 学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。』</p> <p>資料 0 0 9 学則 2024・2025・2026 年度 資料 0 1 0 成績評価基準表</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>校長は授業科目の成績評価に基づいて課程修了の認定を行い、所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書（別紙様式）を授与する』</p> <p>資料 0 0 9 学則 2024・2025・2026 年度</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学則に納付金などについて下のとおり明記している。</p> <p>『本校の入学検定料及び入学金、納付金は別に定めるとおりとするが、この額は物価の変動によって変わることがある。既に納入した給付金は返還しない。ただし、やむを得ない事情があり校長が認める場合はこの限りではない。休学する者に対しては休学期間中の授業料、寮費は徴収しない』</p> <p>〈納付金猶予の取組〉</p> <p>入学手続き書類提出期限までに「授業料等納付金延納（分納）願い」を提出申請し、学内で検討し校長に承認されれば延納（分納）対象者となる。猶予対象者は奨学金採用候補者及び申請書における猶予希望理由が認められた者としている。期日等については原則後期開始前10月までの納付としている。</p> <p>資料 0 0 9 学則 2024・2025・2026 年度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (%)	22人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 農業生産法人・酪農ヘルパー・自営（農業後継者）・農業関連企業等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>個人の資質に適した取得資格を促すとともに、それを有効に活用できる職場について面談などを通じて、意志や適性を確認した上で紹介している。</p> <p>授業として各協力企業・団体へのインターン研修を実施し、進路希望の業界等の業務内容等の理解を深められるように指導している。また就活支援としてキャリア教育関連授業を強化し、ミスマッチ等による早期退職防止に繋がるようにしている</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>家畜人工授精師、農業技術検定(1級、2級、3級)、車両系建設機械運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習、アーク溶接特別講習、ガス溶接技能講習、家畜商、削蹄師、危険物取扱者(甲種 乙種 丙種)、毒物劇物取扱者</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>資格試験は主に学内開催とする計画とし、受講、資格取得の推進に努めている</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>専門家による学生相談室を開設し、学習及び生活に不安感を抱く学生が相談できるような取り組みを実施している。</p> <p>キャリア教育関連授業科目等により学生が自己分析等行い、自ら考えを整理し、各自の学習目的に応じた自主的な学習意欲が維持継続できるような取り組みを強化している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
農業科	100,000 円	260,000 円	600,000 円	授業料には教材費を含む。 その他には寮での施設費、食費を含む
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学金を除き、生徒からの分納申請によって 年間の納付金を複数回に分割することを認めている。 〈納付金猶予の取組〉 入学手続き書類提出期限までに「授業料等納付金延納(分納) 願い」を提出申請し、学内で検討し校長に承認されれば延納(分納) 対象者となる。猶予対象者は奨学金採用候補者及び申請書における猶予希望理由が認められた者としている。期日等については原則後期開始前10月までの納付としている。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://hakkougakuen.ac.jp/
第三者評価 (学校関係者評価) の基本方針 (実施方法・体制)
学校関係者評価 1) 基準項目 基準 1: 教育理念・目的・目標と職業教育のマネジメント体制 ・教育理念、目的及び目標の設定し育成人材像を明確にしているかを評価 ・職業教育のマネジメント体制の整備し、有効に機能しているかを評価 基準 2: 教育課程、教育の実施、学修成果 ・授業科目を体系的・段階的に配置した教育課程の編成をしているかを評価 ・適切に授業科目・内容等が行われ、成績評価を行っているかを評価 ・単位・卒業認定方針を定め、方針に基づき卒業を認定しているかを評価 ・学修成果目標の達成状況を把握しているかを評価 基準 3: 学生の受入れ、学生支援 ・学生募集及び入学者選抜、収容定員管理を適正に行っているかを評価 ・多様な学生に対する支援を整備し、適切な支援を行っているかを評価 ・学生の自主的な学習等の促進に対する支援を適切に行っているかを評価 基準 4: 教育実施組織・教員 ・教員の配置・募集・採用等は基準を整備し、適切に行っているかを評価 ・適切な業務分担・責任体制・組織体制を整備、編成しているかを評価 ・教員の資質向上等の研修を組織的に取組んでいるかを評価 基準 5: 教育環境 ・必要性に対応できる施設・設備、機器等(補修等)を備えているかを評価 ・学校安全計画を策定し、安全対策を適切に行っているかを評価

<p>基準6：中期事業計画と財務基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育目的、目標の実現にむけた具体的な内容が位置付けているかを評価 ・必要かつ十分な財務基盤を確立しているかを評価 <p>2) 検討結果の活用方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価委員会における評価、検討結果はホームページに掲載し公表 ・各評価項目における検討結果をもとに 財務から教育活動、学生指導等の改善項目に関する検討を学内にて実施し、課題の整理、改善方法を検討し、計画を策定 ・学内での検討をふまえ、理事会に諮問、承認を得てから教育課程等の改善を実施 <p>3) 評価委員会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の定数 8人以内 ・委員の選出区分 <ul style="list-style-type: none"> ・関連業界関係者 2名 ・卒業生 1名 ・在校生保護者 1名 ・教育に知見を有する者 1名 ・その他校長が必要と認める者 1名 ・責任者 教学部長 <p>資料003 委員名簿 資料013 教育課程編成委員会規定 資料014 学校評価実施規定</p>																							
<p>第三者評価（学校関係者評価）の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道大学大学院 農学研究院 農業経済学分野 教授</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>教育的知見</td> </tr> <tr> <td>北海道大学大学院 農学研究院 生物資源分野 教授</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>教育的知見</td> </tr> <tr> <td>一般財団法人 北海道農業協同組合 学校 学生部部長</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>関連業界</td> </tr> <tr> <td>前 公益社団法人 北海道農業改良普及協会</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>関連業界・校長指名</td> </tr> <tr> <td>北海道農業専門学校 同窓生</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>卒業生</td> </tr> <tr> <td>在校生保護者</td> <td>2026年4月1日～2028年3月31日</td> <td>在校生保護者</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	北海道大学大学院 農学研究院 農業経済学分野 教授	2026年4月1日～2028年3月31日	教育的知見	北海道大学大学院 農学研究院 生物資源分野 教授	2026年4月1日～2028年3月31日	教育的知見	一般財団法人 北海道農業協同組合 学校 学生部部長	2026年4月1日～2028年3月31日	関連業界	前 公益社団法人 北海道農業改良普及協会	2026年4月1日～2028年3月31日	関連業界・校長指名	北海道農業専門学校 同窓生	2026年4月1日～2028年3月31日	卒業生	在校生保護者	2026年4月1日～2028年3月31日	在校生保護者
所属	任期	種別																					
北海道大学大学院 農学研究院 農業経済学分野 教授	2026年4月1日～2028年3月31日	教育的知見																					
北海道大学大学院 農学研究院 生物資源分野 教授	2026年4月1日～2028年3月31日	教育的知見																					
一般財団法人 北海道農業協同組合 学校 学生部部長	2026年4月1日～2028年3月31日	関連業界																					
前 公益社団法人 北海道農業改良普及協会	2026年4月1日～2028年3月31日	関連業界・校長指名																					
北海道農業専門学校 同窓生	2026年4月1日～2028年3月31日	卒業生																					
在校生保護者	2026年4月1日～2028年3月31日	在校生保護者																					
<p>第三者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>https://www.hakkougakuen.ac.jp</p>																							
<p>(備考)</p> <p>職業実践専門課程認定校。第三者評価は実施しないが毎年度学校関係者評価を実施する方針。</p>																							

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>https://www.hakkougakuen.ac.jp</p>
